

輸送路における放射線量率の測定地点

輸送車両の通過地点のうち交差点や速度低下地点において、遮へい板付きの測定器を用いて周囲の放射線の影響を除去し、車道から歩道方向に入射する放射線量率の変化を測定している。



輸送路における放射線量率の測定結果

測定地点	当該地点を 通過した 輸送車両数 [台]	うち通過時に 線量率の増加 が観測された もの[台]※1	(参考) 当該地点の 空間線量率 [μ Sv/h]	(輸送車両通過時)		
				追加被ばく 線量率 (瞬間最大値) [μ Sv/h]※2	線量率の増加が 観測された時間 (累積) [分]※2	追加被ばく線量 (累積) [μ Sv]
①南相馬IC	2,038	45	0.10	0.03	6.7	0.002
②浪江IC※3	989	13	0.21	0.03	1.7	0.0008
③大熊IC	1,237	6	0.18	0.01	0.67	0.00007
④常磐双葉IC	4,621	100	0.68	0.02	30	0.008

※1 各地点の放射線量率の測定結果について「測定期間の平均値＋標準偏差の3倍」を超過した輸送車両数。

※2 測定は20秒単位。

※3 ICにおける降車と乗車の輸送車両を対象としている。

輸送路における放射線量率の測定結果(2025年4月～11月)

<評価>

輸送車両が通る時などに、数十秒間程度、平常時より高い放射線量率が観測される場合があったが、追加被ばく線量は十分に小さいことを確認した。